

広報
ごしよがわら

発行 五所川原市
 〒037
 青森県五所川原市字岩木町12
 ☎0173-552111(代)
 編集 総務部企画調整課
 印刷 ㈲北斗オフセット

市の人口 総数51,455人 (男24,567・女26,888) 世帯数15,176 (10月31日現在)

(毎月2回 1日・15日発行)



赤、赤と燃えて走るストーブ列車

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

ストーブ列車お目見え!!

冬の訪れを告げる津軽鉄道の名物「ストーブ列車」が11月1日から五所川原市と北津軽郡中里町間20・7キロで運行を始めました。

来年の3月末日まで続けられます。

津軽鉄道では、現在1日25往復運行していますが、そのうち通勤通学時間帯の5便が石炭ス

トープを使って暖をとる全国でも唯一のストーブ列車です。

客席の2箇所に据えられたストーブは、鋳物製で、石炭が赤く燃えて高校生やお年寄りがストーブを取り囲んで話題に花を咲かせていました。

平成元年

No.699

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活気に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

11-15

地域の発展に貢献

文化褒賞は

高橋氏ら12氏

市褒賞は

岩館氏ら14氏

市では文化の日にあたる十一月三日、市内本町のレストラン五松苑で平成元年度市文化褒賞・市褒賞並びに内助功労章の表彰式を行いました。

今年の受賞者は文化褒賞が十二人、市褒賞が十四人、内助功労章が三十五人の計六十一人です。

受賞者が増えたのは、本年度分の功労者に加えて、昭和二十九年の市制施行から本制度が発足する四十六年以前の該当者と内助功労章の表彰が行われなかった六十二、六十三年度分の該当者に追褒賞が行われたためです。

表彰式には、佐々木市長をはじめ受賞者、来賓など約百三十人が出席しました。

君が代斉唱の後、佐々木市長が褒賞受賞者、内助功労章受賞者の席を回り、一人ひとりに褒状と褒章を贈り、受賞者の皆さんには、今後とも健康に過ごされ、市勢発展のため一層のお力添えをくださるようお願いいたします」と式辞を述べました。

引き続き、山口徳二市議会議長らが祝辞を、また受賞者を代表して高橋民一さんがお礼のことばを述べました。以下、各受賞者を紹介します。



市 文 化 褒 賞



教育の振興発展に貢献

高橋 民一氏 (75)

川端町三六八番地

教育界にあつて子弟の教育と後進の指導に精励されるところにも、五所川原市教育委員会委員長として卓越した識見をもって教育の振興発展に貢献。

内助功労章 トミエさん



芸術の振興に貢献

伊藤 芳子氏 (73)

東京都練馬区豊玉北四丁目二五番地三

永年にわたり絵画の道に精進され、日本美術展をはじめ各種展覧会において数多く入選されるとともに夫君正規氏とおしどり画家として活躍され、芸術の振興と当市の名誉を高められた。

青少年の非行防止に貢献

山谷 富男氏 (68)

岩木町二一番地三

五所川原市虫と火まつり実行委員長として活躍され「虫送り」を当市の伝統行事として全国的に有名にするとともに、少年補導協力員として青少年の非行防止に貢献。

内助功労章 榮さん

文化褒賞 平成元年度



賞 褒 市



明るく住みよい社会づくりに貢献

佐々木 初海氏 (62)

吹畑字藤巻三六番地一
社会奉仕の精神と人間愛をもって保護司、更生保護
婦人会会長、人権擁護委員等をつとめられ明るく住み
よい社会づくりに貢献。



地方自治の伸展に貢献

寺田 義雄氏 (69)

唐笠柳字藤巻四番地
市議会議員として活躍され、卓越した識見と政治力
が認められ市議会議長に就任、地方自治の伸展に貢献。
内助功労章 タケさん



地方自治の伸展に貢献

岩 舘 忠雄氏 (79)

中平井町九七番地
社会奉仕の精神をもって保護司、調停委員をつとめ
地域社会の浄化に尽くされとともに、五所川原市助
役として地方自治の伸展に貢献。
内助功労章 きくみさん

追褒賞を受賞された 方々は次のとおりです。

市文化褒賞

▽故・上原 げんと氏

内助功労章 愛子さん

東京都中野区東中野二丁目七番二三号
日本を代表する作曲家として永年にわたり多彩な作曲活動
動を続けられ「上海の花売娘」をはじめ数多くのヒットメ
ロデイをつくられるとともに、五所川原小唄等の作品を
発表され市民意識の高揚と文化の向上に貢献。

▽故・釜 范 銀 三氏

内助功労章 みささん

川端町一五番地

教育に情熱を傾け確固たる理念に基づく実践を通して幾
多の人材を育成し、その高潔な人格とともに偉大な教育者
として教育の振興発展に貢献。

▽故・菊 池 幸次郎氏

青森市大字道字沢田三七番地一

県立五所川原農学校長として同校の経営及び教育に卓越
した手腕を発揮されるとともに、農業教育者として本県農
事の指導に貢献。

▽故・上 見 仙 吉氏

大町七番地
短歌の道に精進され幾多のすぐれた作品を発表されると
ともに、短歌雑誌「はまなす」や「独白」の発刊に参画さ
れ当地方の文化振興に貢献。

▽故・寺 田 武 一氏

内助功労章 みやさん

石岡字藤巻八九番地

学校教育に精励されるとともに、柔道を通して多くの人材
を養成され、また村長、教育長として教育及び地方自治の
伸展に貢献。

▽故・福 士 貞 藏氏

内助功労章 故・ひてさん

弥生町一九番地

教育者として精励されるとともに、考古学郷土史の研究
に精進、五所川原町誌をはじめ数多くの著述を公にし、さ
らに津軽考古学会を創設、考古学史の普及に貢献。

▽故・森 英之進氏

内助功労章 故・そわさん

布屋町一〇番地

神仏彫刻の修行を積み、さらに一般美術の木彫にも精
励され、各種美術展に入選を重ね芸術の振興に尽くされる
とともに、その傍ら剣道の修行に励み後進の指導育成に貢
献。

▽故・八 木 隆一郎氏

内助功労章 アイさん

秋田県能代市向能代字上野九七番地

日本を代表する劇作家として数多くの戯曲を執筆発表し、
我が国演劇界の発展に尽くされ、市民意識の高揚と文化の
向上に貢献。

▽故・和 田 山 蘭氏

内助功労章 故・みよのさん

吹畑字藤巻七番地一

若くして短歌の道に進み県歌壇の草分けとして蘭菊会を
結成するとともに、若山牧水とも交遊し、全国的に歌人
としての名声を高め、書道においても一家をなし芸術の振興
に貢献。

市 褒 賞

▽故・阿 部 敏 雄氏

内助功労章 故・國江さん

羽野木沢字実吉七番地

教育に情熱を注ぎ子弟の教育と指導にあたるとともに、
県議会議員を三期つとめ、この間副議長の要職にも就かれ
るなど地方自治の伸展に貢献。

▽故・小 笠 原 茂 右 衛 門 氏

内助功労章 故・クニさん

田川字高松八五番地

四十年余の永きにわたり旧五所川原町の収入役として財
務の管理執行の任にあたり地方自治の伸展に貢献。

▽故・佐々木 嘉太郎氏

内助功労章 故・さかへさん
青森市浪打一丁目七番地二

貴族院議員として国政に参画されるときも、銀行頭取、鉄道会社などの社長として金融界実業界で活躍され、国政及び地方経済の伸展に貢献。

▽故・田 附 健四郎氏

内助功労章 故・すゑさん
寺町一六番地

建設業を営む傍ら旧五所川原町、五所川原市の議員をつとめられたほか、交通安全協会会長をはじめ多くの公職を歴任され地方経済、地方自治に貢献。

▽故・飛 嶋 浩 三氏

内助功労章 故・ひるさん
旭町一九番地四

西北地方初の旬刊新聞を二十年余にわたり発刊し言論人として地方文化の発展に尽くされるときも、町議会議員、市議会議員として永年つとめられ、その間議長、副議長を歴任し地方自治の伸展に貢献。

▽故・長尾 角左衛門氏

内助功労章 故・きたさん
鶴ヶ岡字鎌田二三八番地

郡会議員、県会議員、村長などを歴任され地方自治の伸展に寄与されるときも、岩木川改修期同盟会会長として岩木川の改修に尽力。

▽故・原 又三郎氏

内助功労章 勝さん
本町三三番地

事業経営の傍ら五所川原商業組合理事長、五所川原商工会理事長、北津軽郡商工会議所会頭、五所川原商工会議所会頭として地域商工業の指導にあたり業界の発展、地域経済の伸展に貢献。

▽故・平 山 為之助氏

内助功労章 やゑさん
漆字千鳥一四四番地

郡会議員、県会議員、衆議院議員を歴任されるときも、鉄道事業を起こされたほか主要な会社の重役として政治及び地方経済の伸展に貢献。

▽故・前 田 顕 三氏

梅田字平野五番地

りんごの病虫害防除、そ菜の促成栽培、優良品種育成の研究を続け、特に果肉まで赤いりんごの育成に成功され農事の改良に多大の貢献をされるときも、郡会議員、村長を歴任され、地方自治の伸展に貢献。

▽故・三 和 精 一氏

内助功労章 きみさん
大町二六番地

県議会議員を経て衆議院議員を永年つとめられ乾橋の架け替え事業、目屋ダムの建設事業などに活躍され、国政の伸展及び郷土の発展に貢献。

▽故・山 内 久三郎氏

内助功労章 キクさん
中平井町一番地一七

町村合併に全力を傾け市制を発足させたほか、県議会議員、五所川原市長を歴任し地方自治の伸展に貢献されるときも、永年にわたり五所川原堰土地改良区理事長として地方開発に貢献。

昭和六十二〜六十三年度
内助功労章

◇ 昭和六十二年 度

▽新谷せつさん (76) 伊 太郎氏 前田野目 修導氏 川端町

▽小山田すゑさん (70) 春藤チエさん (64) 正 鳳隆氏 末広町 志氏 本町

▽鈴木たけさん (66) 太 左衛門氏 梅田 二氏 松島町七丁目

◇ 昭和六十三年 度

▽故・富士キサさん 光男 成田恵代さん (66) 不 氏 高野 二雄氏 栄町

▽岩崎みつゑさん (73) 崎野基尹子さん (59) 富雄氏 金山 清蔵氏 松島町八丁目

▽嵯峨テイさん (67) 幸 川村昌子さん (60) 礼 三郎氏 川端町 一郎氏 敷島町

▽土岐初恵さん (65) 周 佐藤英子さん (60) 豊 藏氏 野里 仁氏 柏原町



第6回ごしょがわら 産業まつり開く

地場産業の振興をめざして

「ごしょがわら産業まつり」が十月二十八、二十九の両日、市民体育館で開かれ大勢の市民でにぎわいました。

これは、市、市内三農協、農業青年会議が主催して開いたもので昭和五十九年以来毎年続いており今年で六回目となります。

初日の開会式では、佐々木市長が、「この産業まつりが農業はもとより地場産業振興の基となるよう期待し

ています」とあいさつを述べました。

引き続き、成田守県議員、其田実美北地方農林事務所長、山口徳二市議会議長がお祝いのことを述べました。

この後会場では、農林産物の共進会と直売市、農業センター作物展、生活改善グループ展、西北五物産観光展などが開かれたほか、きのこ展示や健康相談などの各コーナーが設けられま

した。

このほか、米消費拡大の一環としておにぎりの早にぎり大会が、また、リングージュース試飲コンテストが行われ好評を得ていました。さらに、市の誘致企業展

には「青森ファッション(株)」、「(株)メンズ・ピアレス」、「津軽東芝音響(株)」、「日立東部セミコンダクタ(株)」が出展、また、今回初参加の青森職業訓練短期大学校では地域産業に貢献する新技術

の紹介コーナーを設け、テレビ電話なども展示し、人気を集めました。

産業まつりの最終日には、優良な農林産物等の出品者に対する表彰式を行いました。

最優秀賞及び金賞受賞者は次のとおりです。

▽最優秀賞 (敬称略)

- 雑穀(小麦) 持子沢集落
- 果樹(りんご) 三上礼奈(俵元)
- 野菜 安田美佐雄(いちご・野里)、小田桐芳治(きゅうり・水野尾)

- ▽金賞
- 雑穀(小麦) 高野集落
- 果樹(りんご) 阿部直一、宮崎浩一(羽野木沢)

- 野菜 今春美(きゅうり・浅井)
- 小笠原俊英(トマト・高野)
- 工藤日出吉(ねぎ・浅井)
- 山形一郎(白菜・田川)
- 花卉(きく) 長尾信彦(川山)



開会式で行われたテープカット



好評だった市の誘致企業展



大勢の人でにぎわった演芸大会



盛況であった物産展



農産物共進会

少年の主張堂々と発表



少年の主張発表大会

「平成元年度市少年の主張発表大会」が10月27日、働く婦人の家ホールで開かれ、予備審査をパスした市内の小・中学生12人が日ごろ家庭、

学校、地域社会で起きた事柄などを発表しました。同大会は、市教育委員会、学校警察連絡協議会、青少年問題協議会が青少年の健全育成を願い9年前から開いているものです。

会場には父母や児童、生徒など約150人が出席し、発表内容に真剣に聞き入っていました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- ▷市長賞 渋谷修平(鶴ヶ岡小6)、岩谷千文(五一中2)
- ▷教育長賞 秋田谷雷美(五小6)、成田育美(三好中2)
- ▷学警連協議会長賞 阿部弘紀(羽野木沢小6)、小笠原崇文(五二中1)
- ▷青少年問題協議会長賞 夏坂奈菜子(中央小6)、田附敏尚(南小6)、福土真紀(東小5)、坂本美貴子(五三中3)、毛内裕子(同1)、台丸谷悦子(五一中3)
- ▷BBS奨励賞 田附敏尚、毛内裕子

明るい街づくりにと街路灯5基

— 東北電力グループ —



佐々木市長(右)に目録を手渡す久保所長(左)と金田=所長(中)

東北電力グループでは10月16日、久保光雄東北電力(株)五所川原営業所長と金田一均東北電気工事(株)五所川原営業所長が市役所を訪れ、明るい街づくりに役立ててくださいと「街路灯」5基を寄贈、佐々木市長に手渡しました。

これは、同日から始まった東北電力グループ秋のサービス旬間の多彩な行事の一環として行われたものです。

公園の環境美化にとゴミかご寄贈

— 五所川原中央ロータリークラブ —



佐々木市長(右)に目録を手渡す平山会長(中)と神幹事(左)

五所川原中央ロータリークラブ(平山誠敏会長)では10月12日、市役所を訪れ、狼野長根公園の環境美化に役立ててくださいと「ゴミかご(スチール製)」3個—7万円相当—を寄贈、平山会長、神孝幸幹事が佐々木市長に目録を手渡しました。

社会福祉にと17万4千円余

NTT五所川原支店

NTT五所川原支店(大久保元司支店長)では10月17日、社会福祉に役立ててくださいと、174,859円を寄付しました。

これは、同支店が9月30日に開催したチャリティバザーの益金を寄付したものです。

この日は、大久保支店長とバザーの企画を担当した女性職員の代表が社会福祉協議会を訪れ、小山田鳳隆会長に手渡しました。



小山田会長(右)に手渡す大久保支店長(左)

特別障害者手当等の申請について

○特別障害者手当

対象者	障害の程度
1. 20歳以上で日常生活に常時特別の介護を要する右記の在宅重度障害者。 2. 障害基礎年金等、障害を事由とする年金の受給者であっても対象になります。 3. 身体障害者療養施設等に入所している場合及び病院等に3カ月以上継続入院している場合は受給できません。	日常生活に常時特別の介護を要する重度障害者とは国民年金法施行令別表1級程度の障害が重複するもの、又は同程度以上と認められるもの。
手当額及び支払月	支給の制限
1. 手当額は月額20,950円 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。	本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。

○障害児福祉手当

(従来の20歳未満の児童に対する福祉手当の名称を改めたものです。)

対象者	障害の程度
1. 20歳未満で、精神又は身体に障害があり、日常生活において常時介護を要する右記の在宅障害児 2. 肢体不自由児施設等に入所している場合及び障害を支給事由とする年金を受給している場合は対象となりません。	日常生活において常時介護を要する障害児とは身体障害者手帳1級程度(2級の一部を含む)の障害又は特別児童扶養手当1級、愛護手帳「A」程度の障害のうち最重度の障害と認められるもの。
手当額及び支払月	支給の制限
1. 手当額は月額11,700円 2. 支払月は2月、5月、8月及び11月の4期にそれぞれの前月分までを支払います。	本人及び本人の配偶者もしくは扶養義務者の前年の所得が政令で定める額を超えるときは、手当の支給が停止されます。

※お問い合わせは市福祉事務所福祉係(☎35 2111番内線210番)へどうぞ。

第41回人権週間

12月4日から10日までは「第41回人権週間」です。

毎年12月10日を「人権デー」と定め、記念行事が行われます。

わが国では、「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」と定めていますが、青森地方法務局と青森県人権擁護委員連合会では、次の強調事項を掲げ、県民の皆さんに人権尊重思想の大切さを呼びかけています。

◎国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう。

◎いじめ、体罰の根を絶とう。

◎部落差別をなくそう。

◎女性の地位を高めよう。

◎障害者の完全参加と平等を実現しよう。

「人権週間」にあたり、私たち一人ひとりが人権について考え、明るく豊かな社会をつくりましょう。

なお、毎日の生活の中で、お困りのときは、青森地方法務局五所川原支局(☎342330番)または、お近くの人権擁護委員にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守します。

11月30日は
国民健康保険税の
第5期分納付期限日です
忘れずに納付しましょう

犯罪捜査にご協力を!

指名手配被疑者捜査強化月間

(11月1日～30日)実施中です。

「事件かな?」と思ったら110番

新受入図書

五所川原市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
人間良寛	三輪健司	太宰治結婚と恋愛	野原一夫
どの本で調べるか	図書館資料研究会	詩集 風の吹く町	松本仁子
御定書百ヶ條解説	神野高行	オロシアおろし	津川武一
市浦その史跡を訪ねて	葛西安十郎	桜の木の下で	渡辺淳一
ニューリッチの構造	大野和弘	悪党と幽霊	井上ひさし
春日局	橋田寿賀子	柴田練三郎選集	柴田練三郎
平成の天皇	橋本明	綱子のりんご日記	津川武一
官僚と軍人	広瀬克哉	夜鶉おきん	平岩弓枝
中学生の自立と生きる力	太田昭臣	ダイヤモンドの四季	赤瀬川 隼
教育は生活から	和田重正	旅路	池波正太郎
家の中のダニ	森谷清樹	フツの家族	神吉拓郎
ガラスの地球を救え	手塚治虫	ブス愚痴録	田辺聖子
切り紙おもちゃで遊ぼう	水野政雄	葡萄と郷愁	宮本 輝
カセット録音最新テクニック	村田欽哉	月の王	夢枕 獺
結婚式上手な司会と演出	荒木敏成	木に会う	高田 宏
備かんざし	樋口清之	本のなかの少女たち	津島 佑子
装いのある暮らし	原 慶子	異議あり日本史	永井路子
菜食禁煙がん予防	平山 雄	死よりも遠くへ	吉岡 忍
酒は諸白	加藤百一	紙おムツ・シンドローム	渡辺直己

成人式は 1月15日に行います

市では20歳を迎えた方をお祝いするため次のとおり成人式を行います。なお、対象者には12月中旬に通知します。

- ▷日時 平成2年1月15日午前10時30分～
- ▷場所 市中央公民館大ホール(駅裏)
- ▷受付時間 午前9時30分～10時20分まで
- ▷対象者 昭和44年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人
- ▷その他 学校や勤務の都合で市外に住んでおられる市出身者の参加も歓迎いたします。

「はたちの主張」発表者募集

新しく成人になられる方に、日頃感じていることを述べていただく「はたちの主張」発表者を募集します。ふるってご応募ください。

- ▷テーマ 成人式を迎えるにあたって感じていること
- ▷発表時間 4分～6分(成人式に発表)
- ▷応募資格 新成人(昭和44年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方)
- ▷応募期限 12月20日(水)
- ▷問い合わせ先 市教育委員会社会教育課
(☎352111番内線250番)

受講生募集

働く婦人の家では、次の2講座の受講生を募集します。市内に住所または勤務先をお持ちのご婦人方ふるってお申し込みください。

◎クリスマスケーキ教室

▷日時 12月6日(水)午前10時～正午、12月8日(金)午後6時半～8時半のどちらか希望の日

▷締切 12月4日

◎おせち料理教室

▷日時 12月13日(水)午後6時半～8時半、12月14日(木)午前10時～正午のどちらか希望の日

▷締切 12月11日

○募集人数 2講座とも各24人

○受講料 無料(材料費各1,000円)

○申し込み先及び問い合わせ先

市働く婦人の家(☎358898番)へどうぞ。

在宅介護教室

— 市福祉事務所 —

現在、家庭で寝たきりの老人の介護をされている人や、寝たきり老人などを介護するために家庭介護技術の習得を必要とされる人達を対象に、在宅介護教室を開きます。

- ▷期日 12月5日～6日(2日間)
 - ▷場所 特別養護老人ホーム青山荘(金山)
 - ▷経費 無料
 - ▷講習内容 ①日常の介護知識②リハビリテーションの知識③介護者の心構え
 - ▷申し込み締切 11月27日(先着30人で締切)
- お申し込みや詳しいことは、市福祉事務所福祉係(☎352111番内線210番)へどうぞ。

入園者の作品を展示

— 養護老人ホームくるみ園 —

入園者が日ごろ丹精をこめて作った作品の展示会を開催します。市民の皆さん多数のおいでをお待ちしています。

- ▷日時 11月30日(木) 9:30～15:30
- ▷場所 福祉会館
- ▷内容 作品展示・即売、模擬店(ソバ等)
- ▷地域コーナー 市民の作品展示のご協力をお願いします。

※詳しいことは、くるみ園(☎342721番)へどうぞ。



減塩教室のお知らせ

塩が命を縮める!……家庭の味がちょっぴり塩味になりすぎていないか、これを機会にみなおしてみませんか。

▷テーマ 塩分を1日10g以下に減らしましょう。

▷時間 9:30~13:30

▷内容 ①栄養士による減塩食事指導②家庭のみそ汁塩分測定③1日の食事の塩分量の計算

▷持参するもの 健康手帳、筆記用具、エプロン、ふきん、ごはん、みそ汁(小ビンなどに入れて)、食事診断用紙(地区保健協力員からもらってください)

▷申し込み方法 地区の保健協力員へ(参加申し込み用紙があります)

対象地区	開催月日	開催場所	申し込み期間
七和地区	11月30日(木)	コミュニティーセンター七和	11月24日(金)まで
原子・俵元地	12月1日(金)	コミュニティーハウス原子	
若山・戸沢地	12月5日(火)	若山公民館	
飯詰地区	12月7日(木)	コミュニティーセンター飯詰	
高野地区	12月8日(金)	高野文化センター	

※地区により日程・場所が違いますのでご注意ください。なお、詳しいことは市衛生課(☎352111番内線268・272番)へどうぞ。

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

(救急医療部会)

薄情な女が今日も美しい
厳格な父の言葉にある余韻
いさかしの余韻心を風が抜け
下積みの汗から踊り出す希望
伝統を継ぐ少年の獅子踊り
天職に取り組む父に明日がある

川柳岩木吟社

幸花 牧星 一粹 彩人 枯葉 野泣子

12月の保健センター相談日

12月1・8・15・22日です。(毎週金曜日)

▷時間 午前10時~午後3時

▷内容 保健婦が血压測定、尿検査等を含めた健康相談に応じますので、赤ちゃんからお年寄りまでお気軽にご利用ください。

人の命を救う「愛の献血」にご協力を!

期 日	時 間	場 所
11月22日(水)	午前10時から 午前11時まで	マルカカサイ 駐車場前
	午後3時から 午後4時まで	青森日産モーター(株) 五所川原営業所前

乳幼児の健康診査

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:45~13:00まで

▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。

3歳児は尿検査も行いますので、当日小ビンに尿を入れてもってきてください。

※注意 ①6カ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが当日つごうで来れない場合は、母子健康手帳をもって衛生課窓口にてセットをもらいにきてください。(ただし生後6カ月、7カ月児に限る。) ②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんとはご遠慮ください。

月 令	対 象 児	期 日	内 容
3 月 令	H元年8月生	12月12日(火)	健康診査
6 月 令	H元年5月生	12月19日(火)	健康相談
1 歳 児	S63年11月生	12月25日(月)	健康相談
1歳6カ月児	S63年6月生	12月26日(火)	健康診査
3 歳 児	S61年8月生	12月21日(木)	健康診査

みんなの健康教室

(講師・テーマの変更について)

▷日 時 11月24日(金) 午後1時

▷場 所 市保健センター

▷講 師 佐藤 仁 先生

(佐藤仁外科胃腸科医院長)

▷テーマ 「痛みについて」

▷主 催 北五医師会・市民保健協議会